

高隈山



春 アケボノツツジ

夏 タカクマヒキオコシ

秋 ツチアケビ

冬 樹氷

昭和49年、世界各国の植物学者たちが高隈山の原生林を調査に訪れた。22カ国54人の外国人学者。バスから降りてきた学者たちは、タバヤシイ、カシなどの原生林をみて口々に感嘆の声をあげた。

ウイーン大学学長は「地球上で照葉樹林の原生林はもう絶滅していると思っていたが、ここ高隈山に来てみてすっかり驚いた。これは大変な遺産だ。世界最後の照葉樹林としてぜひとも保護して欲しい」。

また、マルチンルター大学の博士は「しかも、都市の近くにある。このこと自体が実に素晴らしい。私もこれは人類の宝だと思おう」と述べた。

大笹柄岳登山道の魅力について、高隈山のほか大隅半島の自然をガイドする江口智昭さんは「大笹柄岳登山道は、春には新緑やアケボノツツジ、夏には沢伝いに歩く山の冷気、秋には紅葉を見る楽しみがあります。また、季節によって楽しむことができる高山植物も大変豊富です。健脚コースでもあるので、スポーツクラブにとって体力面・精神面の鍛錬にも活用できますし、中央アルプスに登



戦後まで利用されていた大笹柄岳登山道が整備されました。

この古道の復活により、大笹柄岳ルートに選択肢が広がり、より充実した登山が楽しめるようになりました。

高隈山の整備



高隈山の特徴

高隈山は、鹿屋市と垂水市との境界付近に横たわり大隅半島中央部に位置する、鹿児島県内で屋久島、霧島に次ぐ第3の高山群です。

標高1,237mの大笹柄岳を主峰に、標高1,000mを超える七つの峰

- 御岳… 1,182m
- 小笹柄岳… 1,149m
- 妻岳… 1,147m
- 二子岳… 1,107m
- 平岳… 1,105m
- 横岳… 1,094m



とんがった妻岳や平べったい平岳、山が横に傾いて見える横岳など急峻で変化に富み、また万滝・白滝・赤松滝といった大きな滝や美しい沢があることが特徴です。



学術的にも貴重な山で、高隈山単独の森林生態系を形成しており、全国で12箇所しかない「森林生物遺伝資源保存林」にも指定されています。

植物では、よく知られた「タカクマホトトギス」といった「タカクマ」の名が付く植物が存在します。

高隈山との関わり

大笹柄岳の「笹」は、「スズタケ」の意味で地元ではスズタケのことを柄(ガラ)とも呼び、一帯がスズタケに覆われていたことに由来しています。古くからの霊山で修験道の本山として山伏たちの修行がなされてきました。

江戸時代に入ると、民衆の岳参りが盛んになり、その名

る方の練習にも適しています」と話してくれました。

登山道は、山麓である大隅湖から片道5時間と長い行程になりますが、溪流伝いから開けた古道の展望岩、さらに山頂部一帯では1万年前のヴュルム氷期の植物であるブナ・イチイ等の植物が隔離・遺存された状態の森林を見ることが出来ます。

そこで、今回整備された大笹柄岳登山ルートと、ハイキングコースとして人気の高い御岳ルートの特集で紹介します。

【問い合わせ】

市商工観光課

☎0994-31-1121



残として各峰には今も多くの石祠が残されています。



現在でも各山へお参りする行事が残っているほか、自然体験の場として、沢登り、雪山体験、遠足などで活用するなど多くの人が高隈山と関わりを持っています。



● Interview

高隈山は生きたタイムカプセル

坂元三夫

高隈山には1,372種の植物が生えています。まさに、植物の宝庫です。

今から約1万年前まで氷河期が大隅半島まで達し、それまで日本本土に分布していたブナなどの落葉広葉樹や常緑広葉樹などの植物が大隅半島まで南進し避難してきました。氷河期が終わり、温暖化が始まると植物は再び日本列島を北進しました。高隈山にブナ・ミズナラなどの南限種が多いのもそのためです。

このことは、氷河期や現在進行している地球温暖化のことを知るうえで、高隈山の植生は貴重です。まさに、生きたタイムカプセルといえます。

高隈山では御岳登山をお勧めします。カメラを持って、親子で植物観察してみたいかがでしょう。地球環境のことなど多くのことを植物たちが教えてくれます。